

第1回危機管理チーム会議 議事録

1 日時 平成30年7月6日(金) 10:00~10:20

2 概要

(危機管理監)

それではただいまから、危機管理チーム会議を開催します。昨日からの大雨に伴います、今後の対応方針等につきまして、協議を行います。まず、現在の防災体制と把握している被害の状況について、危機管理課から報告してください。

(危機管理課)

まず現在の防災体制でございますが、ご案内のとおり、現在、本庁・県民局とも昨日の午後7時から特別警戒体制をとっているところでございます。それから、後ほど气象台の方から詳しい説明があると思いますが、昨晚から相当な雨量が降っておりますですね、県内では津山市の黒木ダムでは累計雨量234ミリ、同じく鏡野町苦田ダムで179ミリ、笠岡市北木島で166ミリ、寄島で161ミリ、井笠地域事務所、笠岡市で155ミリということで、すでに相当数の雨量が降っているということで、今後もさらに雨量が増えるということで相当危険な状況が近づいているという状況でございます。また昨晚、旭川水系を中心に氾濫危険水位を超えたところも出ているということで、今後のこういった洪水土砂災害に警戒する必要があるということでございますが、被害状況、お手元の平成30年度洪水被害についての資料をご覧いただきたいと思っております。

まず人的被害につきましては、現在のところ、被害はございません。住宅被害につきましては、一部損壊が高梁で1棟、それから床上浸水が津山市、鏡野町、あわせて3棟、それから床下浸水が津山市など合計13棟発生しております。

それから避難の状況でございますけれども、早島町で避難指示が出されておりました1世帯、おそらくがけ崩れと思っておりますが、1世帯4人に対して避難指示が出されております。それから避難勧告でございますが、これは9市町で7,778世帯、18,919人に出されております。同じく避難準備・高齢者等避難開始も、6,639世帯で4市町で出されているという状況でございます。次のページをめくっていただきまして、避難情報を出されているということで、今現在、県内各所で64ヶ所の避難所が開設されているという状況でございます。それから、ライフラインの状況でございます。これにつきましては、一旦復旧状況にありますけれども、依然として水道電気で数棟の断水、停電等が発生しているという状況でございます。それから、6番県内の道路被害状況でございますが、別添で土木部の資料がついておりますけれども、県道で全面通行止めが34ヶ所、それから国道430号、渋川海岸沿いの道ですがこれも全面通行規制がされているという情報が入っているところでございます。それから7番の交通機関も別添で県民生活部の方から出ておりますけれども、主な鉄道が運休状態になっています。山陽本線等の主要幹線では、一時間に1本程度は運転しておりますが、大幅に運休が出ているという状況でございます。それから続きまして9番、市町村の災害対策本部の設置状況でございますが、そこに挙げている通り、14市町村で災害対策本部が設置されております。西粟倉の方が昨晚廃止されておりますが、それ以外は本部

が設置されたまま現在も継続されているという状況でございます。それから続きまして 10 番。これが一番重要かと思いますが、土砂災害警戒情報が、そこに上げております 12 市町村に加えまして、先ほど 9 時 35 分に、総社、早島、井原、浅口、里庄の市町村が加わりまして、トータルで 17 市町村の方で今、土砂災害警戒情報が出されているという状況でございます。ということで引き続き、相当程度の警戒が必要という状況になっているということでございます。以上でございます。

(危機管理監)

次に追加の被害報告や各部局での対応状況等について、この場で補足すべきことがあれば、順次報告してください。

(土木部)

水防警報につきましては、昨晚からかなり発令しておりますけれども、現在、笹ヶ瀬川、足守川等の 3 ヶ所を残して解除しておりますが、以前、笹ヶ瀬川、足守川 3 ヶ所で発令しておりますので、警戒が必要でございます。また、鏡野町では河川の護岸崩壊等の情報を得ておりまして、護岸が道路と兼用しているところがございます。そこで、バリケードで人が近づけないようにしたとの報告がございまして。他に赤磐市で内水が排除できずに浸水被害の恐れがあるということで、国交省に災害用の対策機から、ポンプ車でございましてけれども派遣を要請いたしまして、7 時過ぎから排水作業を行って現在は完了しております。以上です。

(保健福祉部)

水道の被害状況についてご報告いたします。お手元の 1 枚紙についてご覧ください。2 件発生しておりまして、一件は津山市内、断水しております。これは地滑りによって地下に埋設された個人給水管が破損したことによるものということで聞いております。今朝は 8 時半から復旧工事に入るとということで、本日に断水解除の予定ということでございます。それから裏面の方へ、鏡野町でもう一件水道の被害が発生しておりまして、これはちょっと原因は現在調査中ということですが、断水しているという状況でございます。以上です。

(危機管理監)

その他、ありますか。

(農林水産部)

児島湖の状況についてお伝えします。外潮位を確認しながら昨日 18 時 51 分から樋門を開放し、湖内の推移を可能な限り低下させたところであります。現在は外潮位の低下に伴い、樋門を本日 6 時 46 分から解放し、干潮時刻の 10 時 50 分頃に向けて湖内の水位を低下させているところであります。現在の流入量や今後の降雨状況によって児島湖の水位が再度上昇しますので、外潮位をよく確認しながら関係市町とも連携をとって、引き続き適切に対応してまいりたいと思っております。以上です。

(危機管理監)

その他よろしいでしょうか。それでは、次に岡山地方気象台から現在の気象状況と今後の予報等について説明をお願いします。

(岡山地方気象台)

岡山地方気象台です。昨日 5 日に降りました雨につきまして説明させていただきます

す。先ほど県から雨量について説明がありましたが、気象台のアメダスにおいても大雨を観測いたしました。左側の図が現在の観測所の1日の降水量を示したものであります。県北部を中心に100ミリを超えており、一番多いところでは150ミリを超えております。

この雨は、7月の日降水量の極値を更新する観測所があるなど記録的な大雨を観測しております。極値更新については右側の下の表をご覧ください。

続きまして、現在の実況です。昨日、大雨を降らせました梅雨前線は瀬戸内海付近まで南下しました。岡山県内では一時小康状態になったということです。6時のレーダー画像のとおり、県内に強い雨雲はかかっているという状況です。小康状態ではありますが、本日から明日にかけて、また前線が北上し、また停滞するということが、再び岡山県には活発な雨雲がかかる見込みです。次の資料は、土砂余裕図で、基準を超えるのに必要な1時間雨量を示したものであります。現在岡山県全域において、大雨警報（土砂災害）を発表している状況であります。

次に、今後の予想ということで、予想天気図を示しております。基本的に梅雨前線は西日本に停滞するという形です。この状態が続くと見ております。

次に、そのような気象状況のもと、どのような防災気象情報が出るかというシナリオであります。現在、多数の市町村に土砂災害警戒情報を発表しているところであります。現在、大雨（浸水）の警報は岡山県には発表をしておきませんので、赤い実線で書いておりますけれども、これは赤の点線であります。申し訳ありません。発表する可能性があるということになります。今後再び前線の活動が活発になるということになります。警報（浸水害）の発表、発表されていない市町村への土砂災害警戒情報の発表、そして、指定河川洪水情報の発表等は、本日見込まれると考えております。雨のピークとしましては、ここに書いてありますが、今日の6日夕方から、明日朝にかけてが一つのピークと見ております。1時間50ミリの非常に激しい雨が降る見込みと考えております。

そして、今日の朝6時から明日の朝6時までの24時間降水量は多いところで200ミリを予想しております。その後、7日6時から8日6時までの24時間降水量は100～150ミリを見込んでいるところであります。

次の資料は、留意点ということになります。先ほどお話しましたとおり、もう既に5日に日降水量が7月の極致を超えるような観測所があり、記録的な雨となっております。

さらにそれに加えまして、本日6日も昨日を越すような降水量となる恐れがあると見ております。夕方から明日の朝にかけてピークとなり、1時間に50ミリを超える非常に激しい雨の降る恐れがあるということでもあります。土砂災害、浸水害、洪水害に一層の厳重な警戒が必要と考えております。そして、明日午後も天気は回復ということではなくて、さらに降り続く見込みであります。さらに24時間に100ミリを超えるような予想をしております。そしてその先ですが、8日の日曜日につきましても梅雨前線の活動は弱まりますけれども、前線としては西日本に停滞しまして、岡山県は雨が續くと見ております。

河川の方も水位が高くなっておりますので、さらなる警戒をお願いしたいというこ

とであります。期間が長くなるということがあります。今日から明日にかけての降り方ですが、大雨洪水注意報、警報につきましては、8日の日曜日まで継続する可能性もあると考えております。

最後に、この予想通りになりますと、岡山県で特別警報発表の指標である降水量を上回るという可能性もありまして、特別警報発表の可能性もあると気象台では考えております。

このようなことを念頭に置きまして、体制の構築等をお願いしたいと思っております。先ほど言いましたように、今晚が最も気象的に状況が悪いと考えておりますので、できる限り明るいうちに対応していただければと考えております。気象台からは以上です。

(危機管理監)

ありがとうございました。今の説明に御質問がありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは私の方から応急対応方針について伝達します。先ほど気象台から説明がありましたように、昨日からの累積雨量に加え、今後、さらに大雨が継続することが予想されており、引き続き厳重な警戒が必要であることから、県は市町村、そして防災関係機関と緊密な連携を図りつつ、次によって、応急対策活動を実施することとします。1点目は、県民の安全確保についてでございます。まず、市町村に対しては適切な避難誘導に万全を期すよう、次の2点を助言します。

1つ目、日没を考慮した早めの避難所開設の検討や、避難準備、高齢者等避難開始情報の積極的な活用により、住民の早めの避難を促すこと。2つ目が、避難情報を発令する際には、対象者や取るべき避難行動を明確にし、確実に住民へ伝達すること。

次に、県民に対しては、市町村や報道機関と連携して、避難行動について、次の2点を呼びかけたいと思います。

1点目は、最新の気象情報に注意し、市町村が避難情報を発表した場合や、災害の危険を察知した場合には速やかに安全な場所へ避難すること。もう1点は、避難所等への避難が困難な場合には近隣の頑強な建物や自宅内でより安全な部屋への垂直避難など生命を守るための行動をとること。

2点目は、応急活動体制の確保についてです。大雨の継続に伴う被害発生を想定し、救助医療活動を始めとする各部局が担う被災者支援や応急復旧の対策が迅速かつ的確に実施できるよう、警察、日赤、自衛隊等関係機関と連携して、十分な準備を行うこと。応急対応方針については以上のとおりです。以上、よろしく申し上げます。

他に全般としまして、ご意見がある方はいらっしゃいますか。

特にありませんか。それでは先ほどの方針に従いまして、しっかりとした取り組みを各部局お願いいたします。以上で危機管理チーム会議を終了します。